

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

1 調査日

令和6年4月18日（木）

2 調査集計対象

中学校第3学年生徒 全国 904,048名（うち江戸川区 4,367名）

3 区内実施校数

全中学校32校

4 調査目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

5 調査内容

① 教科に関する調査

- 国語・数学

② 生活習慣や学習環境に関する調査

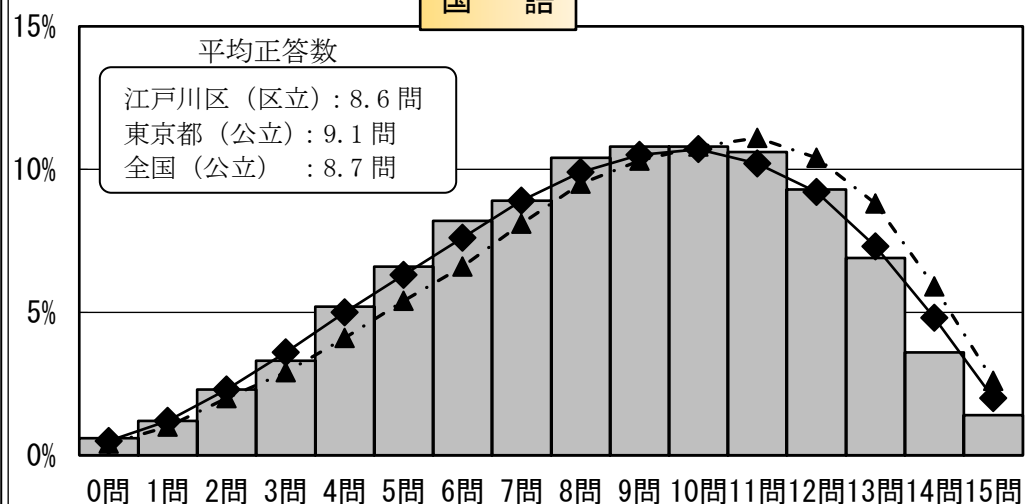
- 生徒質問紙調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
- 学校質問紙調査（指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況に関する調査）

江戸川区教育委員会教育指導課

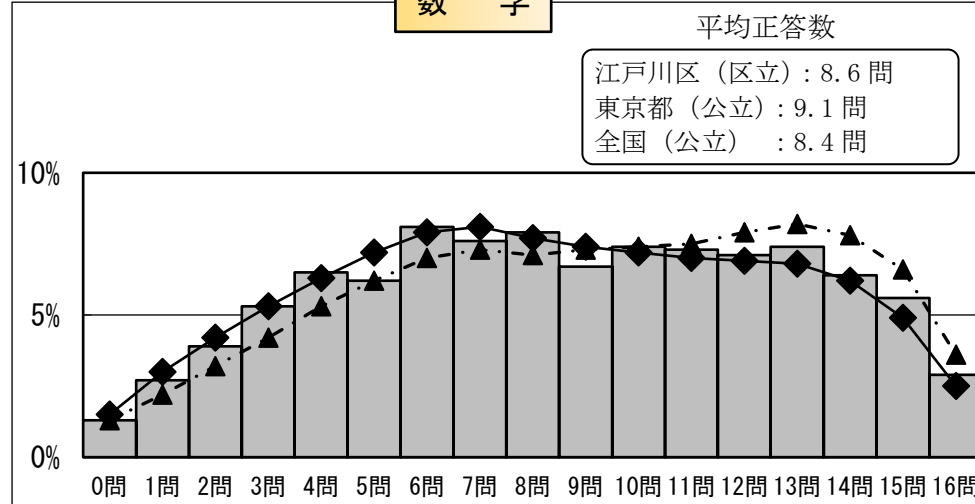
令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

正 答 数 分 布

国 語



数 学



<四分位における割合（都全体の四分位による）>

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、生徒数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって生徒をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の生徒の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。

上位 ← → 下位

国 語	A層 12～15 問	B層 9～11 問	C層 7～8 問	D層 0～6 問
江戸川区（区立）	21.2	32.2	19.3	27.3
東京都（公立）	27.7	32.2	17.6	22.5
全国（公立）	23.3	31.4	18.8	26.5

%

上位 ← → 下位

数 学	A層 13～16 問	B層 9～12 問	C層 6～8 問	D層 0～5 問
江戸川区（区立）	22.3	28.5	23.6	25.6
東京都（公立）	26.2	30.1	21.4	22.3
全国（公立）	20.4	28.5	23.7	27.4

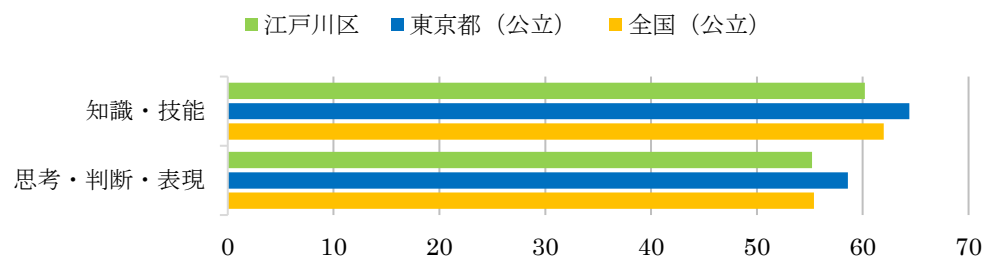
%

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果報告【中学校】

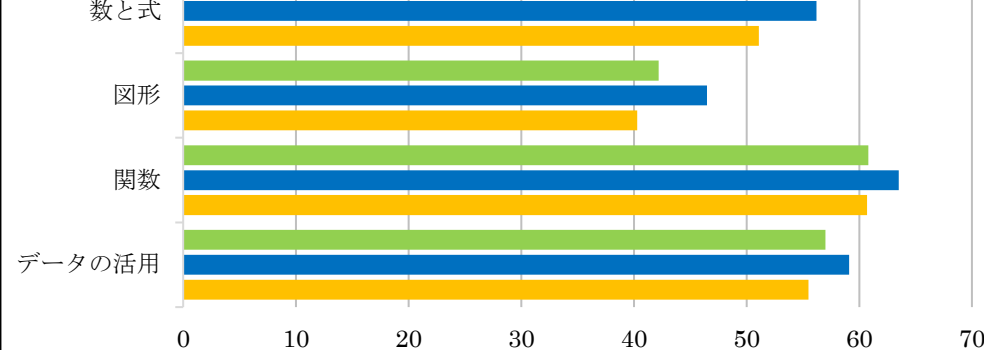
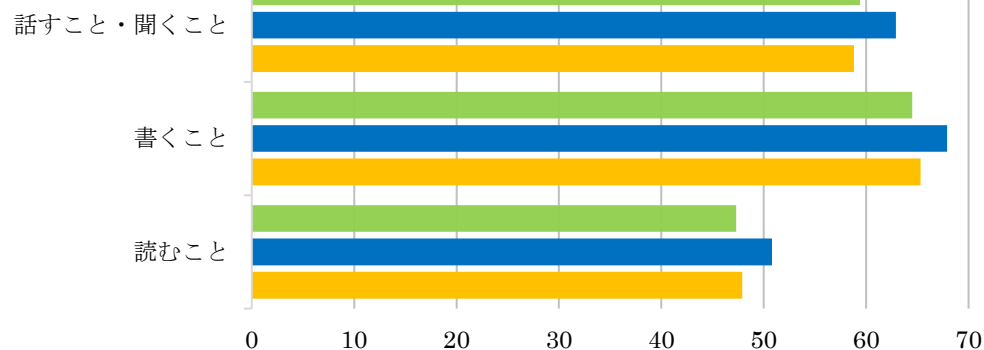
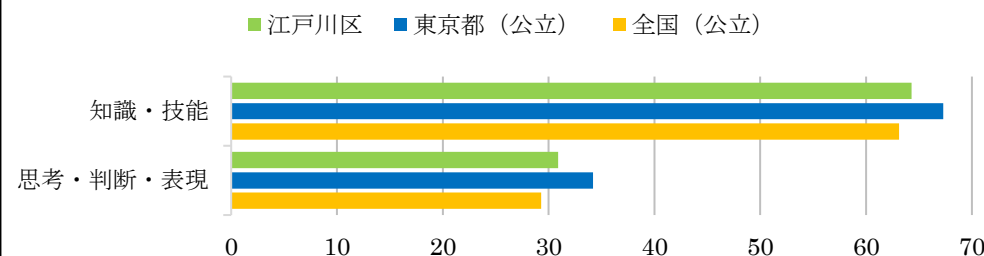
「領域別」の結果

以下、平均正答率（％）を示す。

国 語



数 学



【平均正答率の差】

	国語	数学
江戸川区（区立）	57%	54%
東京都（公立）	61%	57%
全国（公立）	58.1%	52.5%
都との差	－4ポイント	－3ポイント

【全国平均、東京都平均との関係】

＜全国との関係＞

- 全国平均正答率について、国語は1.1ポイント下回り、算数は1.5ポイント上回る。
- 「知識・技能」において、国語は全国平均正答率を1.8ポイント下回り、数学は全国平均正答率を1.2ポイント上回る。「思考・判断・表現」において、国語は同程度であり、数学は全国平均正答率を1.6ポイント上回っている。

＜東京都との関係＞

- 国語、数学ともに、全ての領域において都平均正答率を下回る。
- 「知識・技能」において、国語は4.2ポイント、数学は3.0ポイント都平均正答率を下回り、「思考・判断・表現」において、国語は3.4ポイント、数学は3.3ポイント都平均正答率を下回る。

令和6年度「設問別」の結果と課題【中学校】

国語

平均正答率が全国より高い問題

【出題の趣旨】2 三

文章の全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えることができるかどうかをみる。

【正答率】

江戸川区	66.1%
東京都	67.1%
全国	64.5%

【本区のこれからの取組】

論理的な文章をしっかりと読み込む経験は読解力の基礎となる。書き手の意図を押さえて解釈することで自分の考えが広がり深まっていく。

よむ YOMU ワークシートを通して、ある程度の長さの文章を意欲的に読み解き、論理的に考える力を付けることができる。引き続き、よむ YOMU ワークシートに取り組み、読解力の向上を図っていく。

- 1 植物の葉の二次元的な形が多様に存在すること
- 2 植物の葉の三次元的な形が一言に集約できること
- 3 植物の本質的な生き方には例外がないこと
- 4 植物の本質的な生き方にも例外があること

例は、「ネギの葉」の例は、A を述べるために示されており、「ナンバンギセルなどの寄生植物」の例は、B を述べるために示されている。

- 2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。
(園池公毅「植物の形には意味がある」による。)
- 三 — 線部③「ネギの葉」と、— 線部④「ナンバンギセルなどの寄生植物」を取り上げていることについて次のようにまとめます。次の A、B に入る言葉として最も適切なものを、あとの1から4までの中からそれぞれ一つ選びなさい。

平均正答率が全国より低く、無解答が多い問題

【出題の趣旨】3 四

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができるかどうかをみる。

【正答率】

江戸川区	48.0%
東京都	52.1%
全国	49.3%

【無解答率】

13.3%
12.7%
15.0%

【本区のこれからの課題】

表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することに課題がある。自分の考えがよく伝わる文章を書くには、表現の効果を考えて描写するなど、工夫して書くことが必要である。自分が伝えたいことを明確にし、効果を考えながら工夫して記述したり、伝えたいことが読み手に伝わっているかを確かめて推敲したりすることができるように、国語科の学習を中心に指導を行っていく。

- 3 佐藤さんは、国語の時間に、「体験をもとに、身近なものを登場人物にした物語を書く」という学習に取り組んでいます。次は、佐藤さんが構想をまとめた「フートの一部」と「物語の下書き」です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。(フートの一部) 及び「物語の下書き」の1から4は、場面の番号を表します。)
- 四 佐藤さんは、「物語の下書き」の の部分で、「フートの一部」の4の場面の「僕」の心情を伝えて物語を終えようとしています。あなたなら、どのように工夫して書きますか。次のア、イについて、それぞれの指示にしたがって書きなさい。なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。
- ア 「あの日から数日が過ぎた。」に続けて、表現を工夫して書きなさい。
- イ あなたがアで書いた表現には、どのような効果があるのかを具体的に書きなさい。

令和6年度「設問別」の結果と課題【中学校】

数 学

平均正答率が全国より高い問題

(3) 二人は、次のプログラムを見て、話し合っています。

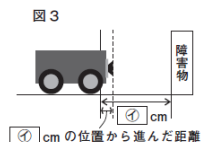
プログラム

```

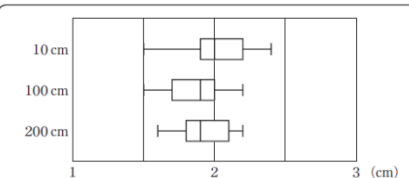
段階 [2] の速さで前に進む → 障害物からの距離が [4] cm より小さいことを感知する → 止まる
    
```

海斗さん「速さを段階1にして、距離を変えると、設定した位置から進んだ距離はどうなるかな。」
 咲希さん「設定した位置から進んだ距離の分布の傾向が変わるかもしれないよ。」
 海斗さん「距離 [4] の値を10より大きくしてみよう。」

海斗さんは、速きの段階を1に設定して、障害物からの距離 [4] cm の設定を変えたとき、次の図3の [4] cm の位置から進んだ距離がどうなるか調べることにしました。そこで、[4] の設定をすでに調べた10 cmのほか、新たに100 cm、200 cmにして、それぞれ20回ずつ調べてデータを集めました。そして、データの分布の傾向を比較するために、箱ひげ図に表しました。



設定した位置から進んだ距離の分布



	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
10 cm	1.5	1.9	2.0	2.2	2.4
100 cm	1.5	1.7	1.9	2.0	2.2
200 cm	1.6	1.8	1.9	2.1	2.2

段階1の速さで、障害物からの距離を10 cm、100 cm、200 cmと長くしていくと、四分位範囲はどうなりますか。設定した位置から進んだ距離の分布から読み取り、正しいものを下のアからオまでの中から1つ選びなさい。

- ア 四分位範囲はだんだん大きくなる。
- イ 四分位範囲はだんだん小さくなる。
- ウ 四分位範囲は大きくなって、小さくなる。
- エ 四分位範囲は小さくなって、大きくなる。
- オ 四分位範囲は変わらない。

【出題の趣旨】7 (3)

複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することができるかどうかをみる。

【正答率】

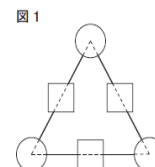
江戸川区 51.8% 東京都 52.2% 全国 48.5%

【本区のこれからの取組】

全国よりも高いが、正答率は 51.8% であり、複数の集団のデータの分布から、四分位範囲を比較することに課題がある。数学科で、複数のデータの分布の傾向を比較する際には、代表値だけでなく、四分位範囲や四分位数、箱ひげ図の箱の位置などに着目して多面的に吟味し、批判的に考察できるように指導することが大切である。

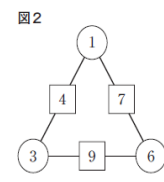
平均正答率が全国と同等であるが、無解答が多い問題

6 次の図1は、正三角形の3つの頂点に○を、3つの辺に□をかいたものです。○には整数を1つずつ入れ、□にはその□がかかっている辺の両端の○に入れた整数の和が入ります。

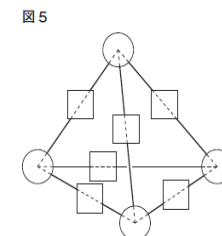


計算の例

3つの○に1、3、6を入れると
 3つの□にはそれぞれ
 $1+3$ 、 $3+6$ 、 $6+1$
 の計算結果が入る。
 だから、3つの□には4、9、7
 が入る。



(3) 優真さんは、正三角形を正四面体に変えても、各頂点の○に入れた整数の和と各辺の□に入る整数の和の間には何か関係があるのではないかと思います。正四面体の図をかいて考えてみることにしました。次の図5は、正四面体の図の各頂点に○を、各辺に□をかいたものです。



このとき、○に入れた整数の和と□に入る整数の和について、どのようなことが予想できますか。前ページの予想のように、「～は……になる。」という形で書きなさい。

【出題の趣旨】6 (3)

統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することができるかどうかをみる。

【正答率】

江戸川区 42.0% 東京都 46.2% 全国 41.8%

【無解答率】

江戸川区 27.7% 東京都 26.4% 全国 29.6%

【本区のこれからの課題】

正答率は 42.0% と低く、無回答率も 27.7% と高い。統合的・発展的に考え、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明することに課題がある。

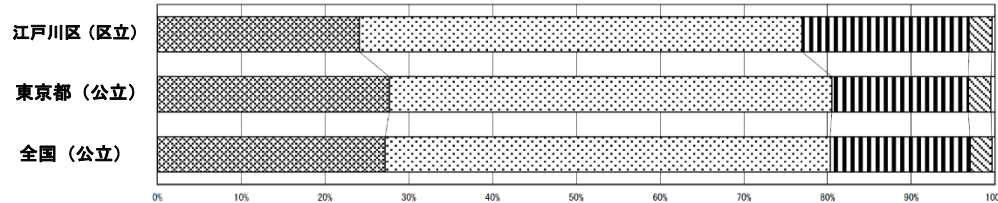
問題の条件を変えて考え、成り立つ事柄を見だし、数学的に表現できるようにすることが必要である。そのためにも、生徒それぞれの興味・関心に応じて考察する機会を授業内で設定していく。また、終末に振り返りの時間を設定するなど工夫し、解決の過程や結果を振り返って、数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察できるように指導していく必要がある。

令和6年度 生徒質問紙調査【中学校】

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

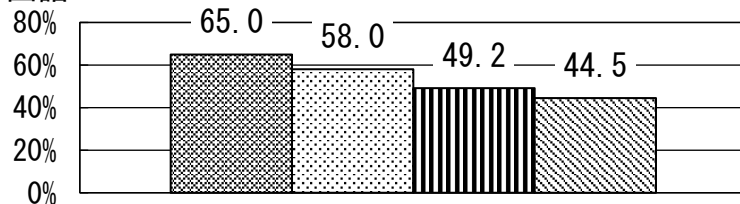
30 1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □無回答



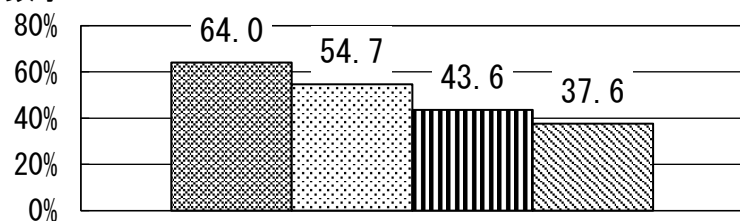
授業への主体的な取組と学力のクロス集計

国語



□1. 当てはまる
□2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない

数学



□1. 当てはまる
□2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない

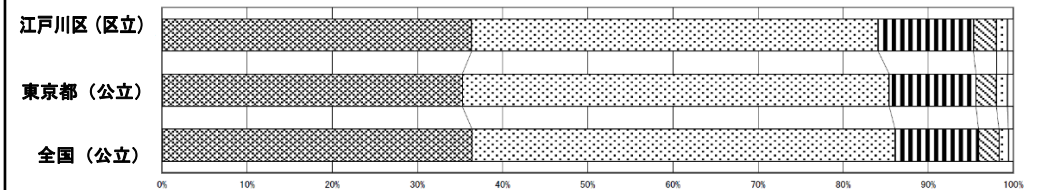
「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び都を下回っている。課題の解決に向けて、自分で考え、自分から進んで取り組んでいると回答した生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。

生徒が課題に対して主体的に取り組むことができるよう、授業の導入や教材の内容、課題提示等の工夫をし、自主的・自発的に学習に取り組む態度を養う必要がある。

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況

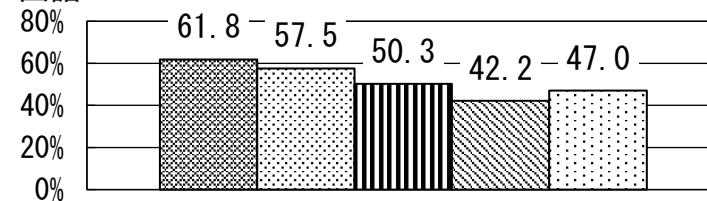
33 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

□1. 当てはまる □2. どちらかといえば、当てはまる □3. どちらかといえば、当てはまらない □4. 当てはまらない □5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない □無回答



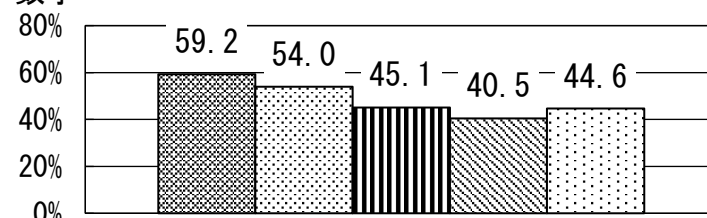
授業への対話的な取組と学力のクロス集計

国語



□1. 当てはまる
□2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない
□5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない

数学



□1. 当てはまる
□2. どちらかといえば、当てはまる
□3. どちらかといえば、当てはまらない
□4. 当てはまらない
□5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない

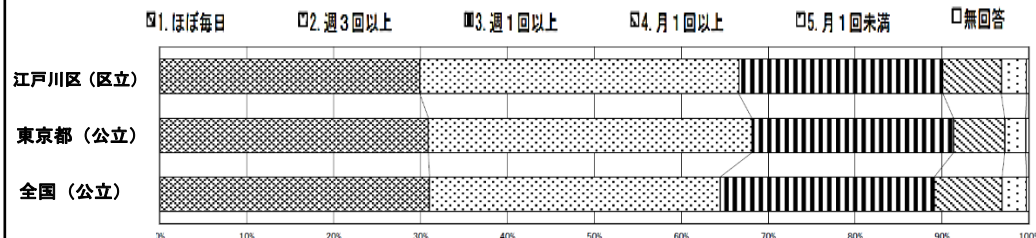
「当てはまる」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び都を上回っている。課題の解決に向けて、他者に対話し、自分で考え、広げることができていると回答した生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。

個人で考えたことを、意見交換したり議論したりすることで、新たな考え方に気付いたり自分の考えをより妥当なものとしたりする機会を意図的に設定し、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」を実現していく必要がある。

令和6年度 生徒質問紙調査【中学校】

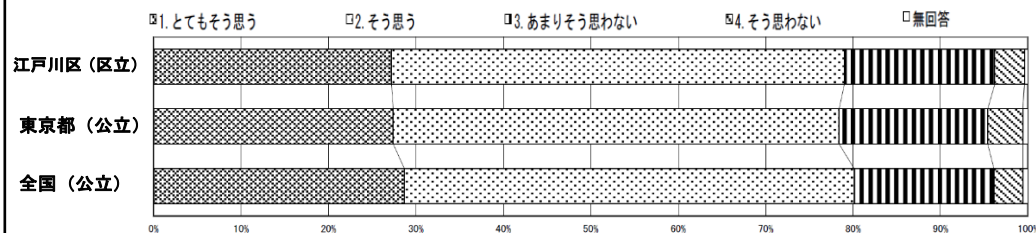
ICT を活用した学習状況

- 27 1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



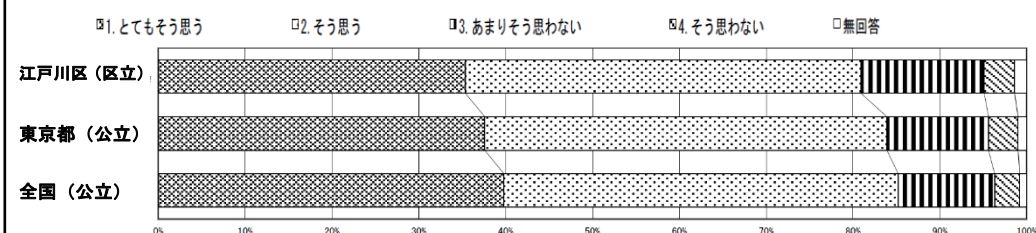
- 28-1 1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(1) 自分のペースで理解しながら学習を進めることができる



- 28-7 1、2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか。

(7) 友達と協力しながら学習を進めることができる

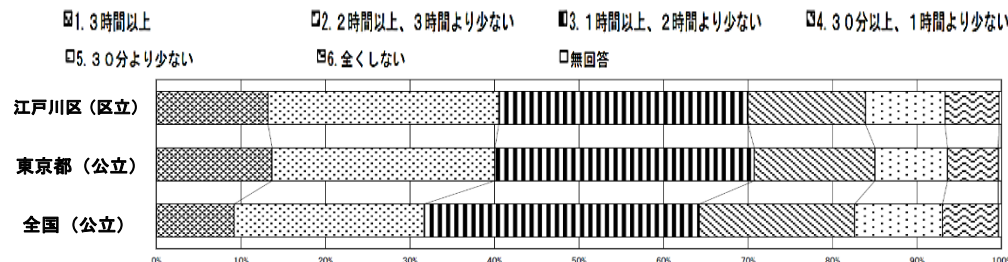


授業内における、PC・タブレットなどのICT機器の活用について、「ほぼ毎日」と回答した児童の割合が全国及び都を下回っている。また、ICT機器の活用について、自分のペースで学習すること、友達と協力して学習することについては、「とてもそう思う」と回答した児童の割合が、全国及び都を下回っている。

「一人一台端末の活用」に加え、「個別最適な学び」「協働的な学び」を実現していくための効果的な活用について、授業改善を図っていく必要がある。

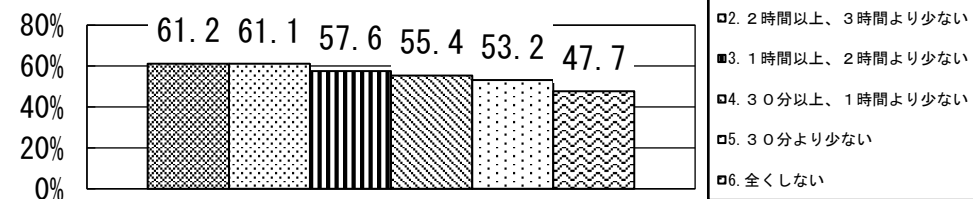
学習習慣・学習環境等

- 21 学校の授業時間以外に普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネット学習を含む）

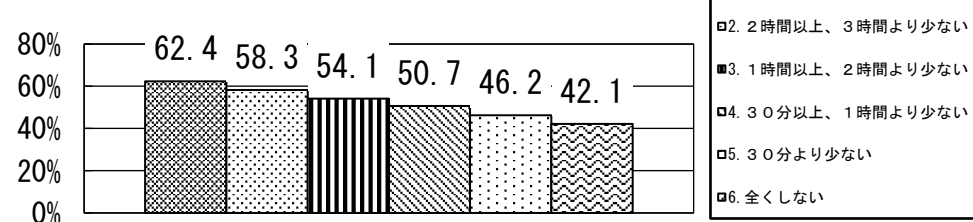


学習習慣と学力のクロス集計

国語



数学



学校の授業時間以外の勉強時間が「3時間以上」から「1時間以上」と回答した生徒の割合が、全国より上回ってはいるが、都よりは下回っている。学校の授業時間以外の勉強時間が長い生徒の方が、そうでない生徒よりも平均正答率が高い傾向にある。

放課後補習教室や家庭学習等を通して、個人が自分のペースで取り組みたい教科を自ら意欲的に学習し、さらなる学力の向上に努める必要がある。

令和6年度 生徒質問紙調査【中学校】

基本的生活習慣

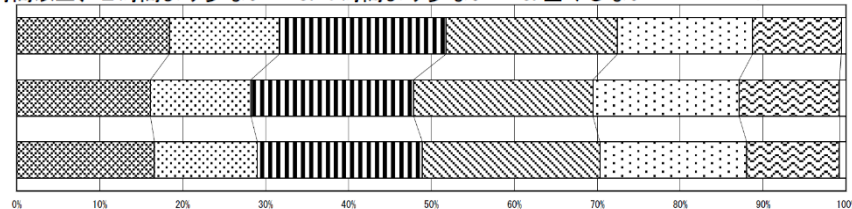
5 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか

- 1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない □5. 1時間より少ない □6. 全くしない □無回答

江戸川区（区立）

東京都（公立）

全国（公立）



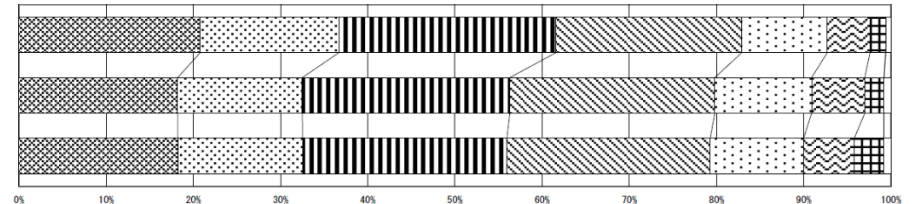
6 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

- 1. 4時間以上 □2. 3時間以上、4時間より少ない □3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない □5. 30分以上、1時間より少ない □6. 30分より少ない
□7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない □無回答

江戸川区（区立）

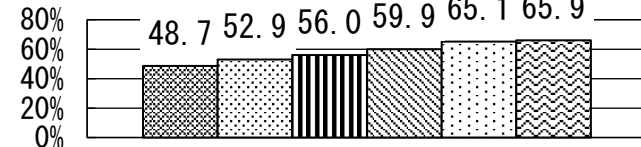
東京都（公立）

全国（公立）



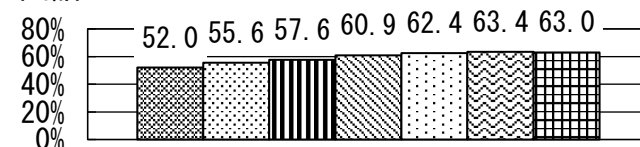
基本的生活習慣と学力のクロス集計

国語



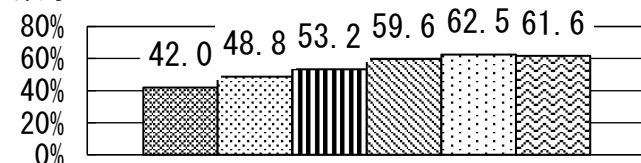
- 1. 4時間以上
□2. 3時間以上、4時間より少ない
□3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない
□5. 1時間より少ない
□6. 全くしない

国語



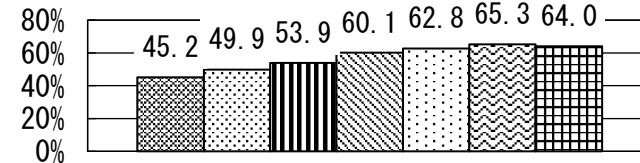
- 1. 4時間以上
□2. 3時間以上、4時間より少ない
□3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない
□5. 30分以上、1時間より少ない
□6. 30分より少ない
□7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない

数学



- 1. 4時間以上
□2. 3時間以上、4時間より少ない
□3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない
□5. 1時間より少ない
□6. 全くしない

数学



- 1. 4時間以上
□2. 3時間以上、4時間より少ない
□3. 2時間以上、3時間より少ない
□4. 1時間以上、2時間より少ない
□5. 30分以上、1時間より少ない
□6. 30分より少ない
□7. 携帯電話やスマートフォンを持っていない

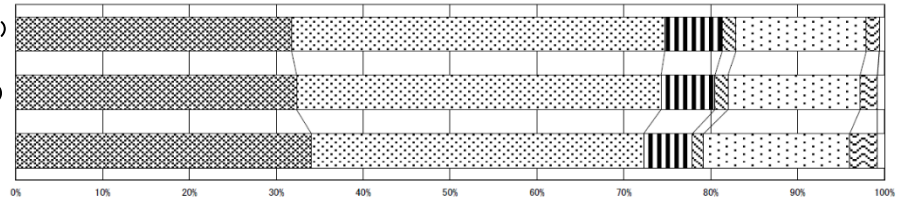
7 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

- 1. きちんと守っている □2. だいたい守っている
□3. あまり守っていない □4. 守っていない
□5. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータは持っているが、約束はない □6. 携帯電話・スマートフォンやコンピュータを持っていない
□無回答

江戸川区（区立）

東京都（公立）

全国（公立）



テレビゲームをする時間が全くない、携帯電話・スマートフォンを持っていないと回答した児童の割合が全国及び都を下回っている。しかし、テレビゲームや携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴に費やす時間が1時間以上と回答した児童の割合は、全国及び都の平均を上回っている。また、テレビゲームや携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴に費やす時間が少ない児童の方が、多い児童よりも平均正答率が高い傾向にある。SNS 家庭ルールを適宜見直し、生活習慣を整え、家庭学習の時間を確実に確保することで学力の向上に努めていく必要がある。

令和6年度 学力向上に関わる主な取組【中学校】

○「誰一人取り残さない学力向上アクションプラン」の策定

- ・「江戸川区立学校における学力向上に向けた取組の指針について」における論点を基に、学力向上に向けた具体的な取組を推進

○学力向上プロジェクト推進局の設置

- ・江戸川区立学校に在籍する小・中学生の学力向上に向けた諸事業を行うことを目的とし、学力向上プロジェクト推進局を設置
- ・推進局内に学力向上プロジェクトチームをおき、プロジェクトチームを中学校国語、中学校数学、中学校英語の3つのチームで構成

○プロジェクトチームの取組

- ・「単元別検定・総合検定」（数学）の実施
- ・EESA 英語授業力アップ講座を年間5回開催
- ・読解力向上を目指し、よむYOMUワークシート（年間30回）を第1学年、第2学年、第3学年（前期のみ）で実施

○江戸川区学力調査の実施

- ・国語、数学、英語、学習意識調査を第1，2学年で実施

○教育アドバイザー（数学・英語）の派遣

- ・若手教員を含む教員全体の授業力向上に向けた取組を強化

○「放課後補習教室」の実施

- ・放課後補習教室事業の実施（令和4年度から全校で実施） 令和5年度から、数学に加え、英語も実施
- ・年間約150日間実施

○東京方式 習熟度別指導ガイドラインに基づく効果的な「習熟度別指導」「少人数指導」の推進

- ・数学、英語の授業において、効果的な「習熟度別指導」「少人数指導」を実施

○ICTを活用した協働学習の推進

- ・各教科等の授業で一人一台端末を活用し、授業改善を実施

○学校図書館の活用

- ・学校図書館の環境整備を進め、各教科等で学校図書館を活用
- ・学校図書館への区立図書館職員の全校巡回

○「読書科」の充実

- ・読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成（全校の各学年で年間35時間実施）

○ミライシード ドリルパークの活用

- ・「ミライシード ドリルパーク 江戸川っ子 study week!」の実施（各学期に1週）